

3. 基本理念と将来目標

(1) 基本理念

向日市は、7.67km²という全国でも有数の小規模な面積の市であり、市街化区域の人口密度は、約7,200人/km²に達する過密都市です。

しかし一方では、「長岡京」が平安京へ遷都される10年間、向日市域が日本の都であったという歴史をもっており、生活空間の中にも歴史の息吹が感じられる、まさに歴史都市としての顔をもっています。

近年では、都市化の波の中で、オープンスペースはことごとく宅地化され、かつてあった農地や樹林の緑も減少の一途をたどってきましたが、それ故に、現在残されている西ノ岡丘陵や条里遺構の残る農地、また市街地内に残された古墳や遺跡、旧街道やそのたたずまいなどは、きわめて貴重なまちの緑の財産となっています。また、こうした緑を今後とも残してほしいという市民の声が高いのも事実です。

今後は、新たな都市軸の形成など総合的な都市計画、また市民参加を基調としたきめこまかなまちづくり活動、緑をまもる運動のなかで、こうした貴重な緑を次世代の子供たちにまもり伝えていくことが重要であり、総合計画で標榜する「車に頼らず歩いて暮らせるまち」「住みつづけたいと言えるまち」などを実現すべく、質の高い緑の保全・創出を図ることが望まれます。また、こうした活動が、地域文化の醸成や人の育成にもつながることが期待されます。

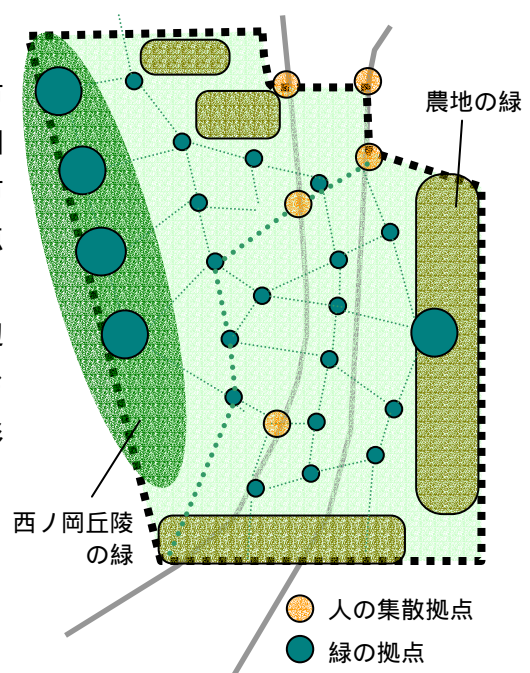
このため、「向日市～市民が誇る都の魅^{みやこ}緑^{みりょく}づくり～」を本計画の理念とし、これまで培われてきた本市の歴史・文化・生活に根ざした緑の財産としての価値を理解し、市民に愛され支えられた質の高い味わいのある緑の保全・創出を基本に、それぞれの緑の効用が十分に発揮されるよう、きめ細かな緑のネットワーク形成を図ります。

(2) 緑の将来像

本市の緑の骨格を構成する西ノ岡丘陵の緑は、市街化調整区域の農地の緑と連なり、市街地を取り囲むかたちで大きな緑の帯を形成しています。一方市街地内には、小さいながらも貴重な歴史・文化拠点や身近な公園緑地等の緑が数多く分布しています。

そこで、こうした緑の特徴を活かし、市街地周辺を囲む環状緑地帯の形成と拠点の創出、市街地におけるサテライト型緑地の確保と緑のネットワーク形成を目指し、右図に示すような緑地パターンを本市の緑の将来像として設定します。

衛星の意味。拠点のまわりに小さな拠点が散在する様を表わす。



(3) 将来目標の設定

将来人口および市街地規模の設定

本計画は、平成19年度を計画の初年度とし、目標年次は20年後の平成39年とします。なお、中間年次を10年後の平成29年に設定し、当面の目標とし、必要に応じて見直しを行うこととします。

将来人口は、第4次向日市総合計画および都市計画マスタープランとの整合を図るとともに、長期の全国的な人口動向を勘案し、以下のように人口フレームを設定します。

なお、中間年次は、本市北部地域の都市開発計画を勘案し、市街化区域の規模の一部拡大および人口増加を見込みます。

表 9 将来人口および市街地規模の想定

年次	現況(H17年)	中間年次(H29年)	目標年次(H39年)
全市人口(人)	1 55,040	58,000	55,000
市街化区域人口(人)	2 54,300	57,300	54,300
都市計画区域の規模(ha)	767	767	767
市街化区域の規模(ha)	521	524	524

1 平成17年(2005)国勢調査

2 平成16年都市計画年報

緑地の確保目標

大きくは、西ノ岡丘陵および市街化調整区域農地など環状緑地帯の保全を図るとともに、市街地内においてはきめ細かな緑地の保全を図り、市域全体(都市計画区域全体)で概ね34%の緑地を確保します。

表 10 緑地の確保目標水準

目標年次(H39年)における緑地の確保目標量		参考(H17年)	
市域面積に対する割合	概ね258ha 34%	概ね238ha	31%

公園・緑地等の整備目標

都市公園については、西ノ岡丘陵での緑地整備や北部地域開発、近隣レベルでの緑地確保等により、将来的には4.5㎡/人を目標とします。なお、児童公園等の類似の緑地を含んだ都市公園等の目標は、4.8㎡/人とします。

表 1 公園・緑地の確保目標水準

年次	現況(H17年)	中間年次(H29年)	目標年次(H39年)
都市公園(㎡/人)	0.86	2.0	4.5
都市公園・児童公園(㎡/人)	1.10	2.2	4.8

緑化の目標

本市の主要なオープンスペースとして、都市公園と1000㎡以上の公共公益施設をとりあげ、現況の低い緑化率(樹林率)を目標年次には、緑の質の向上を図りつつ、それぞれ敷地の50%、15%の緑化率を目標とします。

表 2 緑化の目標

年次	現況(H17年)	目標年次(H39年)	備考
都市公園(%)	37.8	50	現況は樹林率、目標は草地等を含む
公共公益施設(%) (1000㎡以上)	6.0	15	

【緑の満足度目標】

また、今回実施した市民の緑に対する満足度において、多いと感じている人が約15%、ちょうどよいとする回答が30%であり、緑に対して満足を感じている市民は約45%であった。市街地内での緑地の確保がきわめて困難な本市においては、より効果的な緑化が期待されるところであり、とくに緑視効果の高い緑の保全・整備を進めることで、中間年次には3人に2人が、また目標年次には4人に3人が緑を多いと感じられる水準を、本計画の一つの目標指標として設定するとともに、適宜モニタリング調査を実施します。

【参考 緑の満足度の目標】

年次	現況(H17年)	中間年次(H29年)	目標年次(H39年)
緑の満足度	45%	66%	75%